

## 「ラジオきしわだ」に出演して

4月に地域のコミュニティFMである「ラジオきしわだ」の番組「この指とまれ」に市岡日本語教室の学習者たちが出演しました。その時の感想を二人の学習者に書いてもらいました。

### 日本のラジオ番組に出演した感想

#### 黄子菘さん (台湾出身)

「あなたにラジオの収録に参加してもらいたいみたいだよ。」とボランティアの堤田さんが急に私に言いました。最初はわけがわからなかったです。色々なことを話した後、私ともう一人の学習者と参加することになりました。

ラジオ「この指とまれ」の収録に参加する当日に色々なことが起きました。一つ、収録本番前の打ち合わせでまた、「男子中学生」に誤認されました。理事長は「色気がないから」と言いました。確かに私は「色気より食い気」です。二つ、初めてのラジオ収録ですから緊張しすぎて携帯電話の十時に設定していた目覚まし時計が鳴りました。すごく恥ずかしかったです。

収録本番の時、わたしはあまりに緊張しすぎて本番前の打ち合わせで考えた返事を忘れて、あわてて別の返事を答えました。急に考えた返事だから、敬語とか助詞とか正しいとあまり考える時間がないのでちゃんと答えなかったです。他の人の番の時、私は「皆さんはいつも私は日本語は上手だと言っていますが、やっぱり私の日本

語はまだ上手ではないのでもっと勉強しないとだめだ！」と反省しました。

このような「笑うでもなく、泣くでもない微妙な感じ」のことがこの日にたくさん起きました。けれど、それも私の経験であることに違いありません。この日に経験したに事に基づいて、人や物事などへの対応方法がさらに進歩していくと思います。私をこのような事に参加させてくれた「市岡日本語教室」と「ラジオきしわだ」の皆さんに感謝を言います。「謝謝！」

### 日本のラジオ番組に出ました

#### グエン ヒューコンさん (ベトナム出身)

今で日本に来て1年5ヶ月間ぐらいです。最初日本に来てから、見ず知らずなことが多かったし、日本の気候等になれていなかったし、それに一人ぐらしをしているので、本当にさびしかったです。

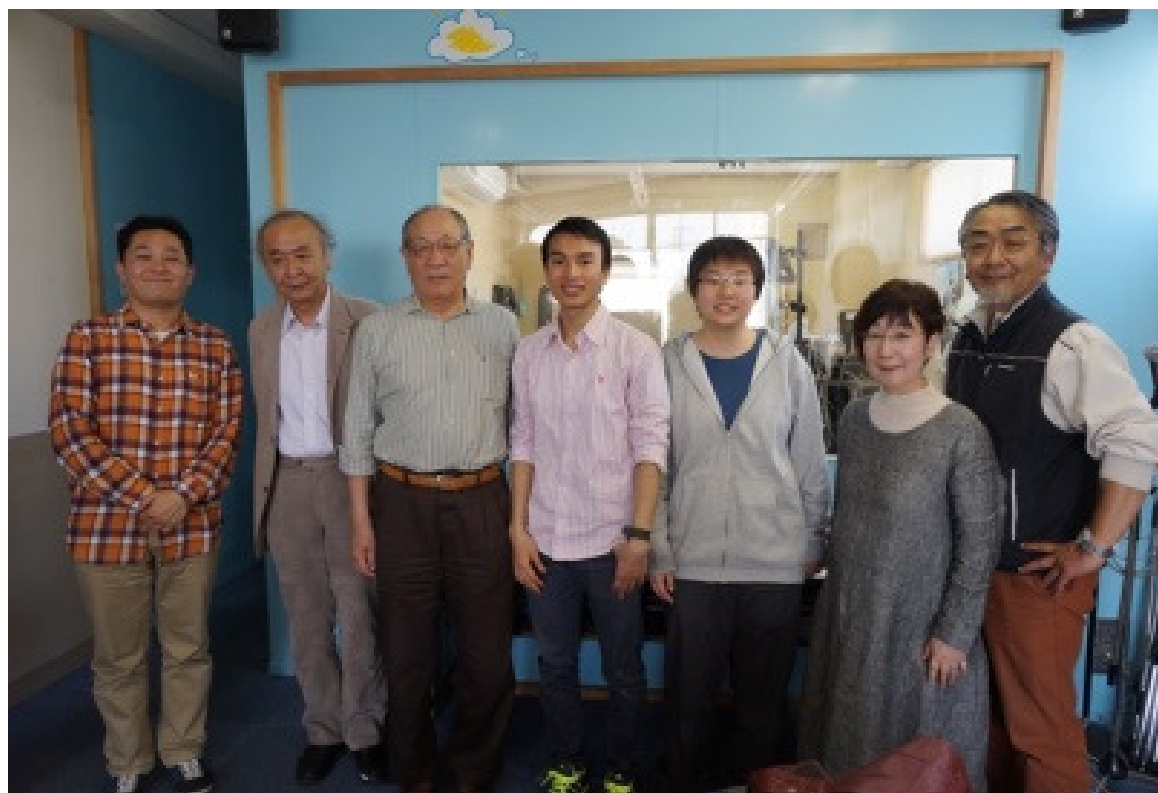
そのうちに、友達が紹介してくれた市岡日本語教室に通いはじめました。日本語を学んでいることは楽しいです。市岡に参加してからは、たとえ毎週金曜日、忙しくても市岡に行っています。

市岡日本語教室では学んだ日本語の知識を使えるだけでなく、さまざまなことも勉強できるので、ぼくには楽しみなんです。

先日、市岡の世話役の方のおかげで、ラジオに出演して、日本語の勉強のことに話をしてきました。最初は緊張していましたが、アナウンサーがベトナム語であいさつをしてくれたので、びっ

くりして緊張がほぐれました。30分の出演時間の間、7人でさまざまなことを話して雰囲気がとても楽しかったです。そして最後にみんなといっしょに記念写真を撮影しました。良い思い出になりました。

ぼくは市岡日本語教室に参加しているからこそ、いろいろな楽しみをもらっていると思います。



「ラジオきしわだ」に出演した市岡のみなさんと放送局のスタッフ。右から3人目が黄さん、4人目がコンさん。

# 七夕まつりの感想

## ウー クアン ヒエンさん (ベトナム出身)

本は夏の季節になるとたくさんお祭りのイベントがあります。その中で僕が参加したことがあるのは七夕祭りです。七夕祭りにはお願い事を書いて笹の木に飾ります。日本人には折り紙の技術と飾りのセンスがあるので七夕祭りはとてもカラフルに見えました。初めて七夕祭りに参加したのでとても興奮しました。

僕は七夕祭りの意味は知らなかったので先生に聞いたところ、七夕祭りは自分のお願い事を書いて笹の木に飾ると現実になると教えてもらいました。そして僕がお願い事を書いて笹の木に飾ったらそのお願い事は現実になりました。それは今回、日本語能力試験に合格することができたことです。

七夕祭りに参加するときに浴衣を着るのは初めてでしたのでとても不思議な気分になりました。各国には文化の違いがあり僕の国の民族衣装にはアオザイとカンドンがあります。日本の場合は着物と



浴衣です。七夕祭りはとても賑やかでたくさんの演出があってとても楽しいお祭りだと思いました。

最後にみんなと記念撮影をして、そして自分のお願い事を書いて飾りました。僕は家族と友達が健康でありますようにと、自分自身もっと日本語が上手くなるようにとお願いをしました。

## 山口達也さん (3班)

みなさんこんばんは。7月4日の七夕祭りは何事もなく楽しいイベントでおわりました。これもボランティアのみなさんの協力のもととおもいます。七夕祭りの中のスリランカ舞踊を観させていただき、本当に綺麗なカッコいい踊りと感じました。その後彼女は自分の民族衣装を脱ぎ、浴衣に着替えて会場に戻って来た姿は、またすごくかわいい子に見えました。自分の国の衣装の時は国を代表していると感じているのか、顔つきがせいせい堂々とした顔つきで、日本の浴衣の時は可愛い女の子に戻っているのです。着る服によっていろんな自分になれると私なりに感じました。その他に今年は5班の五味さんの尽力で着ぐるみの織姫ちゃんを借り受け、いつもの七夕祭りと違う雰囲気を楽しめました。会場には隆勢会の人達の踊り、子供たちの演舞、たのしく私は、受付の仕事をおわりました。そう私はいつも受付のテーブルにすわっているだけの者です。ほんとはもっとイベント係りとして動き回ってみなさんの役にたきたいと、心のなかではいつも思っています。だけどボランティア各みなさまの行為に甘えてそのままの状態です。私は平成20年に脳梗塞に倒れ、左半身不随になり、家でただテレビを見ているだけの毎日でした。そんな時市岡日本語教室の事を聞き、札葉さんに電話をかけて聞きました。体が不自由ですがお役にたちますか？ と。 札葉さんは

こうして電話ができるのであれば、是非にきてくださいとの返事で、私は自信が無いまま、この教室に参加させていただきました。いざ、みなさんの中にはいつか感じたことは、外国の人々が障害者である私に普通に接し、笑顔がでる雰囲気があると思ったのです。外国の人々も初めて教室に入るときは、すごく不安にかられる気持ちがあると私なりにおもいます。でもここを卒業する時の笑顔はどの外国の人も、はにかんだ素敵な顔で帰っていかれます。私ももっともっと外国の人々に、笑顔で国に帰っていただけるように、ボランティアを続けたいとおもいます。こんなわたしですがみなさんの邪魔にならないように頑張っていきます。よろしくお願ひいたします。

## 韓国から来ました イマンシクさん

はじめまして、こんばんは。私は2012年7月に韓国から来たイマンシクです。年齢は他の学習者さんとくらべれば少しだけうえです。まあ気になれば見に来てくださいね。しかし日本語を習い始めた時は去年9月からです。だからまだ勉強がたりない事がたくさんあります。自分のために、熱心に勉強しましたが、とても難しいです。今はすべては時間が問題だとおもいます。ここ市岡日本語教室に去年9月にきました。私の日本語の能力についてはまだわかりません。早く日本語が上手になりたいです。特に私を教えているボランティアの先生は身体がとても不便ですが私のために熱心に教えてくれます。そして3班の方は3~4ヶ月に一回ずつくらい居酒屋に集まります。みんな一緒によく集まります。ほんとによく集まると思います。そしてその時間はとても楽しくおもしろかったです。いろんな日本の食べ物、お酒の種類、勉強になりました。さてみなさん、この日本語教室の生活が終わってあなたの国に帰っても、ここ市岡日本語教室を忘れないでおぼえていてくださいね。そして時間があれば韓国も一度来てください。日本に負けないくらい美味しい食べ物や沢山の景色がある国です。ありがとうございました。

## 今後の予定

毎週金曜日よる7時から8時30分 日本語教室(区民センター) ただし、11月14日、12月5日はORC200生涯学習センターで行います。

### 11月30日 秋の遠足

12月下旬にオープンクラスを実施する予定ですが、詳細は未定です。(12月19日または26日ごろ)

12月最終日が19日になるか26日になるかは未定です。

1月の1回目は1月9日の予定です。

## 新聞編集担当者募集!! (編集後記)

このICHIOKA新聞は各班の広報係が原稿を集め係(札葉)が編集発行しています。今回の記事は3班が担当しました。次号は4班の担当です。私が編集を始めてから10年以上経過しています。そろそろ交替していただきたいと思ひます。ワードの扱いになれて